

第3回 大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会 会議録

開催日時： 令和7年11月5日(水) 9:30~12:00

開催場所： 大田区役所本庁舎 2階 201・202 会議室

出席者：	学識経験者	一般社団法人日本公園緑地協会副会長 元日本大学教授	島田 正文(会長) 大川 三雄(副会長)
	関係寺院	池上本門寺総務部執事 池上本門寺学芸員	山村 栄慎 安藤 昌就
	地域団体	大田区自治会連合会会長 池上まちづくり協議会事務局長 池上まちづくり協議会副会長	鈴木 英明 深川 幹祐 津久井 祐介
	大田区	産業経済部長 まちづくり推進部長 教育総務部長	青木 毅 杉山 良樹 今井 健太郎
	オブザーバー	国土交通省関東地方整備局建政部計画管理課長 東京都教育庁地域教育支援部管理課文化財調査担当課長代理(学芸員)	野田 隆 原 眞麻子
	事務局	都市計画課長 都市計画課計画調整担当係長 都市計画課主任 都市計画課主任 大田図書館長 大田図書館文化財担当係長/郷土博物館長 大田図書館文化財担当主任(学芸員)	深川 正浩 東 美江 後藤 礼 内藤 怜里 杉村 由美 村松 美紀 田島 太良
欠席者：	学識経験者	筑波学院大学名誉教授	坂本 要
	地域団体	池上まちづくり協議会会長	村石 忠司
	大田区	スポーツ・文化芸術担当部長	保下 誠

- 次 第：
- 1 開会
 - 2 挨拶
 - 3 議題
 - (1) 第2回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会の振り返りについて
(資料1~3、当日資料1)
 - (2) 大田区歴史的風致維持向上計画の素案について
(資料4~12、当日資料2~6)
 - (3) 今後のスケジュールについて
(資料13)
 - 4 その他
 - (1) 令和7年度都市景観大賞の審査結果について
(当日資料7)
 - 5 事務連絡

第4回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会(予定)
日時：令和8年2月18日(水)午後3時から午後5時まで
場所：池上会館本館 2階 第二会議室
※詳細が決まり次第、通知いたします。

配布・送付資料：	次第	
資料 1	第 2 回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会	会議録（案）
資料 2	第 2 回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会	発言整理表
資料 3	事前質問事項整理表	
資料 4	大田区歴史的風致維持向上計画素案	序 章
資料 5	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 1 章
資料 6	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 2 章
資料 7	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 3 章
資料 8	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 4 章
資料 9	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 5 章
資料 10	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 6 章
資料 11	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 7 章
資料 12	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 8 章
資料 13	今後のスケジュール	
参考資料 1	大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会名簿	
参考資料 2	大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会座席表	
参考資料 3	大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会運営要綱	
当日資料 1	第 2 回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会	会議録（案）
当日資料 2	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 1 章
当日資料 3	未指定文化財及びその他の歴史文化資源一覧表	
当日資料 4	歴史的風致の変更点	
当日資料 5	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 2 章
当日資料 6	大田区歴史的風致維持向上計画素案	第 4 章
当日資料 7	令和 7 年度都市景観大賞の審査結果について	

議事内容

1 開会

事務局 定刻となったため、第3回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会を開催する。
(会議録の作成と録音、会議の形態、資料の確認)

2 挨拶

委員 (挨拶)

3 議題

事務局 (協議会の成立及び傍聴に関する報告、オブザーバーの紹介)

(1) 第2回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会の振り返りについて

事務局 ●第2回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会での委員の発言とそれに対する事務局の回答について説明した。(当日資料1、資料2、資料3)

会長 ●質問等はあるか。

委員 ●質問した5点について、事前質問事項整理表として回答いただき感謝する。

事務局 ●国土交通省の担当者にも確認したうえで、回答しているため間違いない。

会長 ●特にこれ以上ご意見がなければ、当日資料1の第2回協議会会議録案について承認いただきたいが、よろしいか。

全委員 ●はい

(2) 大田区歴史的風致維持向上計画の素案について

事務局 ●大田区歴史的風致維持向上計画の作成に関するルール及び序章と第1章における大まかな記載内容について説明した。(資料4、当日資料2)

会長 ●序章 P0-2 について、基本理念のほかに、大田区らしさが表れたサブタイトルがあると良い。

●質問等はあるか。

委員 ●序章 P0-4 の表 0-4-1 で委員の任期が「R7.5～」となっているが、正しくは「R7.4～」ではないか。

事務局 ●令和7年5月に行われた令和7年度第1回協議会時点から部長には委員として参加いただいているため、「R7.5～」からと記載している。

委員 ●第1章 P1-34 の表 1-3-1 池上宗仲の父は「池上左衛門大夫」と記載される場合もあるなかで、「池上某」という記載は適切か。

委員 ●正式にはわからないが、「池上康光」と記載されることが多いため、そのようにしていただくと良いのではないか。

●第1章 P1-35, 36 の表 1-3-1 日蓮宗の僧を「日昭」「日朗」「日興」「日向」「日持」「日頂」の順に記載し直してほしい。

委員 ●第1章 P1-35 の表 1-3-1 「宗祖」と記載される場合もあるなかで、日蓮宗の

- 「開祖」という記載は適切か。
- 委員 ●「開祖」という記載で良いかと思う。
- 委員 ●序章は計画書を開いて皆がまず初めに見る最初の大事な部分であるため、一言でどんなことが書いてあるのかが分かれば良い。
- 委員 ●「0-1. 計画の背景と目的」には大森貝塚の内容がないにもかかわらず、「1-3. (1)歴史」には大森貝塚の内容がある。整合を図ってほしい。
- 委員 ●第1章 P1-34～の表 1-3-1 の大田区に関する主な人物は「川端龍子」等ほかにも多くいるが、さらなる記載は検討しないのか。
- 事務局 ●大森貝塚の記載については、ほかとのバランスを見て修正する。
- 事務局 ●大田区にゆかりのある人物について、大田区と関係がある方を全て網羅することは難しいことから、国のマニュアルに則り、第2章の歴史的風致に関係する人物など、条件に合致する方のみを記載している。掲載する人物の要件についての説明を追加する。
- 委員 ●本協議会で策定した歴まち計画は、創刊号として今後都度編集していくものであり、計画公表後に区民からの意見を適宜取り入れる想定をもって作成すると良い。しかしながら、必ずしも全てを網羅できないことについて承知した。
- 事務局 ●第2章と第4章における大まかな記載内容について説明した。(当日資料4、当日資料6)
- 会長 ●質問等はあるか。
- 委員 ●第2章 P2-2-28 の図 2-2-51 を、六士講の半纏を着た六士講の人々の様子を写した写真に差し替えをお願いしたい。
- 委員 ●第2章 P2-2-29 の義民六人衆の活動は、立場によって見方が異なるため、良し悪しの二面性があるといった説明や木原家の話があると良い。
- 委員 ●義民六人衆に関する活動は日本中にあり、地域おこしとして実施されていることが多い。心象的な部分があるにしても、人のために犠牲となって立ち上がった人々の勇敢な部分を称えるために、地域で受け継がれている。現代の我々の生き方に繋がるところもあるといった記載があると良い。木原家としては飢饉があっても、江戸に年貢を納めなければならなかった背景がある。本門寺の五重塔を建てたのが木原一族であることから、配慮があると良い。
- 委員 ●第4章 P4-5 の図 4-2-2 の重点区域(池上・洗足池区域)のうち、池上本門寺東側の境界線は何を基準として設定したのか。
- 事務局 ●表 4-2-2 に記載のある池上本門寺の東側の区域線は、お会式の核となる万灯練行列が通過し、交通規制がなされる部分である。交通規制がなされるほどの盛り上がりがあるエリアであることを考慮し、重点区域を設定している。
- 委員 ●覺應山長勝寺や慈性山安立院、蓮華山東之院などは、池上本門寺東側の境界線を東へわずかに移動すれば重点区域内となる。覺應山長勝寺は、中央六丁目に位置するものの、現在でも池上特別出張所管内であるため、重点区域(池上・洗足池区域)に含めてほしい。
- 事務局 ●今回いただいたご意見を参考にし、国と協議を進める。

- 委員 ●第2章 P2-4-6 の「表 2-7-1 洗足池風致協会の主な活動」とあるが、「洗足風致協会の主な活動」に修正してほしい。
- 第2章 P2-4-6 表 2-7-1 の「洗足池ボート場」の運営」は昭和 39 年ではなく、昭和 2 年開始の誤りではないか。
- 事務局 ●表 2-7-1 のタイトルについて、「洗足風致協会」に修正する。
- ボート場の運営の開始時期について、記載のある昭和 39 年は、ボート場の運営が洗足風致協会に委託された時期であり、昭和 2 年は東急電鉄がボート場の運営を始めた時期である。表を見た際に誤解を招く表現であるため、わかりやすく修正する。
- 委員 ●第2章 P2-2-1 の「禰宜の舞」の「禰宜」について注釈がほしい。
- 第2章 P2-3-1 以降の銭湯文化について、大田区の銭湯文化が広まった背景として以下のような記載がほしい。大田区に多くの町工場が立地し始めた当時、労働者向けの共同住宅には浴室が備えられていないことが一般的であり、町工場に勤務する人々は日常生活の一部として銭湯を欠かせないものとして利用していた。
- 第2章 P2-5-1 以降の大森貝塚について、区境に関係なく、品川区の貝塚公園などについても言及してほしい。
- 第2章 P2-7-1 以降の馬込文士村について、村岡花子氏をはじめとした文士の住んだまちとして現在も受け継がれていることを記載してほしい。
- 事務局 ●大森貝塚に関する記載について、事務局でも区境を気にしながら国とも協議しており、大田区や品川区に関係なく住民にとっての資源として歴史的な価値があることから取り上げている。来年度は大森駅開業 150 周年、再来年度は大森貝塚の発見から 150 周年という節目を迎える。再来年の大森貝塚の節目に向けて、大田区役所と品川区役所が連携をし始めているようである。具体的な連携は現時点ではないものの、調整しつつ円滑に進めていきたい。
- 事務局 ●禰宜について、禰宜という言葉以外にも馴染みのない言葉が多数使用されているため、計画の内容が理解できるように、ルビ振りや注釈の挿入等をパブリックコメントまでには実施する。
- 入浴文化について、大正期以降の町工場の進出に伴い、銭湯が増加した背景があるため加筆する。
- 事務局 ●馬込文士村について、村岡花子氏の氏名は P2-7-2 の表 2-7-1 で挙げているものの、関連する建造物や活動として 50 年以上続いているものがない事情により、本文に記載することは難しい。村岡花子氏や宇野千代氏などをまとめてコラムとして掲載することを検討する。
- 委員 ●第2章 P2-3-1 の歴史的風致の名称について、「黒湯を用いた銭湯文化にみる歴史的風致」を「天然鉱泉を用いた入浴文化にみる歴史的風致」に変更した理由を教えてほしい。銭湯と天然鉱泉は異なる。
- 事務局 ●森ヶ崎鉱泉、温泉遊園地多摩川園など、黒湯を用いた銭湯文化以前の区内での入浴文化というものも大田区内の歴史として取り上げられることを検討していたことから、銭湯ではなく、入浴文化と記載した。しかしながら、協議を

進めるなかで、銭湯の歴史として黒湯の使用に関係なく、国内の銭湯から歴史をたどることができるようになってきたため、今後名称を絞っていくことを検討したい。

- 委員 ●黒湯と入浴を使い分けて使用してはどうか。
- 事務局 ●天然鉱泉を用いた入浴文化にみる歴史的風致を作成するにあたって、大田浴場連合会も懸念を示されていたが、引き続き調整を進め、パブリックコメントまでにはより良い内容に更新する。
- 副会長 ●小風致という名称は定義があって使用しているものか。
- 事務局 ●当日資料4の02.四季を彩る歴史文化に伝統文化にみる歴史的風致は、構成する要素として8つの伝統文化があり、これらを国でも小風致と呼んでいる。
- 副会長 ●第2章 P2-6-1 以降について、海苔の販売に関する内容に加えて、海苔取りから生産にかけての詳細も記載してはどうか。
- 事務局 ●第2章 P2-7-1 の表 2-7-1 について、解像度を上げて見やすくしてほしい。
- 表 2-7-1 については、現在、解像度を上げて読みやすくする調整を行っている。
- 委員 ●第2章 P2-6-1 以降について、ノリヒビにあたって、中央防波堤埋立地の帰属をめぐる争いがあったことを記載してはどうか。
- 事務局 ●海苔取りから生産にかけての大変重要な視点について記載する。
- 事務局 ●第3章と第6章における大まかな記載内容について説明した。(資料7、資料10)
- 会長 ●質問等はあるか。
- 委員 ●大田区の文化財は国分寺崖線に沿って多く存在しており、がけ崩れなどにより文化財の損壊が危惧されるため、文化財保護の観点から、がけ崩れ発生防止に資する整備に予算を配置できるよう強調した文章を記載してはどうか。
- 事務局 ●引き続き協議する。
- 会長 ●歴まち計画の推進により、生物多様性やウェルビーイングの実現を目指すといった内容を記載してはどうか。
- まちづくりへのDXの導入が推進されるなか、歴史的風致の範囲などのデータベース化やシステム化を進めてはどうか。
- 第6章 P6-2 の(5)-01「AR」についても注釈があるとよい。
- 事務局 ●本計画は基本理念として「歴史と文化を巡り訪れたくなるまちを目指して」と掲げ、区外から人を呼び込むと共に、区民にも改めて大田区の魅力を認識してもらうため、令和8年度に放映される予定の馬込文士村の宇野千代氏に関するドラマを契機として捉え、資料 P6-2 の(5)-01「ARを活用した馬込文士村の魅力発信事業」を他部署と連携しながら推進する。
- まちなかには情報として看板が整備されているものの、傷みつつあるため、ARの技術を一緒に導入する。ハードとしての看板整備以外にも、仕掛けとしてスマホをかざすことによって、より詳しい解説があったり、次のポイントを知らせるコースなどがわかったりといった、さらなる観光としての情報を付与する。学芸員がこれまで丹念に調べた様々な情報を開示し、それを点

ではなくつなげて、巡りたくなる、訪れたいようになるようにしていきたい。

- 予算の関係上、まずは馬込文士村での効果を検証しながら、区内全域に広げていきたい。

事務局 ●第5章と第7章、第8章における大まかな記載内容について説明した。(資料9、資料11、資料12)

会長 ●質問等はあるか。
●12月のパブリックコメント実施まで時間が限られているため、本日いただいたご意見・修正点のうち、誤字などの軽微な修正を反映したものをパブリックコメントに付す素案とし、その他の修正点についてはパブリックコメント後の修正とさせていただきたいと思うが、よろしいか。

全委員 ●はい
委員 ●パブリックコメントで区民に特に見てほしい部分は、第2章であることを記載したほうが良い。

事務局 ●主に第2章を閲覧いただく必要があるものの、第2章に誘導することはできないため、パブリックコメント実施の際には、本編のほかに概要版と子ども版を作成し開示するなど、区民が理解しやすくする形で実施予定である。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局 ●大田区歴史的風致維持向上計画策定までのスケジュールについて説明した。(資料13)

会長 ●質問等はあるか。

オブザーバー ●大田区には素晴らしい文化があることを認識してもらうことが最も重要であり、まず計画を策定する段階で、このように関係者が集まり、文化財を掘り起こすプロセスに、非常に意義があると思う。歴まち計画は関心のある方からすれば非常に貴重な資料であるものの、読んでもらえなければ意味がないため、概要版に加えて子ども版を作成されることは大変良い。

- 国の指針で基本理念の記載が必要であるとの話があり、貴重なご意見として検討する。キャッチコピーとしてのサブタイトルもPRという意味で、大変重要であり、検討いただければと思う。

- 崖下の文化財について、防災関係の補助制度を用意しているものの、歴まち計画と紐づいていないのが現状であるため、補助を約束できない。

- DXの観点について、都市計画データのデジタル化や、3D都市モデルの蓄積に係る補助制度について相談いただければ検討する。

オブザーバー ●文化庁と連携しながら、様々な文化財の支援策として、耐震・修理を含めた技術的な協力および財政的な協力をさせていただく。

- 文化財保護行政としての基盤を固めていただくため、文化財をまちづくりに活かすための文化財保存活用地域計画に関する記載があると良い。

4 その他

(1) 令和7年度都市景観大賞の審査結果について

事務局 ●令和7年度都市景観大賞にて特別賞を受賞した洗足池周辺地区について紹介した。(当日資料7)

5 事務連絡

事務局 ●本日発言できなかったことや疑問点があれば、11月12日(水)までにFAX、メールをいただきたい。

●第4回協議会の開催日時は、令和8年2月18日(水)15時からで、場所は池上会館を予定している。

●これにて、第3回大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会を終了する。

以上